



2026年3月5日

各 位

**(経過開示) ステータブルトレジャリー戦略 (abc protocol) の運用開始  
および運用状況を可視化する専用ダッシュボード公開のお知らせ**

当社は、2026年2月10日付「[経営戦略アップデートおよび『ツインエッジ・トレジャリー』構想の強化](#)」ならびに2026年2月24日付「[外部 DeFi インターフェースサービスの活用によるステータブルトレジャリー戦略 abc protocol 導入のお知らせ](#)」にて既報のとおり、デジタル資産トレジャリーの高度化を目的とした「ステータブルトレジャリー戦略 (abc protocol)」の導入を進めてまいりました。

この度、非カスタディアル型の技術インターフェースを通じた初期運用資金のデプロイ（投入）およびシステム環境の構築が完了し、実運用を開始いたしました。あわせて、その運用状況をリアルタイムで透明性高く公開する専用ダッシュボード (abcprotocol.jp) を開設いたしましたので、進捗状況をお知らせいたします。

**1. 本戦略による運用構造の転換について**

本件の導入により、当社のデジタル資産運用は以下の通り構造的な転換を果たします。

**(1) 収益構造の転換**

- 従来 (As Is) : トークン価格の上昇に依存したキャピタルゲイン型の資産保有
- 今後 (To Be) : 流動性提供による手数料収益等のキャッシュフローを創出するインカムゲイン型の資産運用

**(2) 管理体制の高度化**

- 従来 (As Is) : 属人的な資産管理によるオペレーションリスクおよび機会損失
- 今後 (To Be) : スマートコントラクトおよび非カスタディアル型の技術インターフェースを活用した24時間監視・自動最適化

**2. 運用の進捗状況および詳細**

本戦略の実装にあたり、Bacoor dApps 株式会社が提供する技術インターフェースを活用

し、以下の体制で初期運用を開始いたしました。

- ・運用開始日：2026年3月4日
- ・初期投入額：約1,000万円（約6.5万ドル相当）
- ・運用対象：優先ネットワーク（Baseチェーン等）上の主要流動性プール（USDC/ETHペア等）
- ・運用手法：
  - ① 単一資産または自動戦略による流動性提供と、それに伴う手数料収益（DEX取引手数料）の蓄積。
  - ② リスクを分散させるためのポジション管理（ずらし戦略等の実行）。
  - ③ 報酬（フィー）の自動確認および再投資による複利効果の追求。
  - ④ 法人ガバナンスに基づいた非カストディアル管理（自社による完全な資産コントロール権の維持と権限分離）。

### 3. 専用ダッシュボードの公開について

本ダッシュボードは、当社が掲げる「Proof of Profit（利益の証明）」を体現するものです。株主およびステークホルダーの皆様に対し、オンチェーン上での運用実績（主要流動性プールごとの推定年利や手数料回収状況等）をリアルタイムに開示することで、暗号資産の価格変動に依存しない持続可能な財務モデルの進捗を証明いたします。



ダッシュボード URL : <https://protocol.abc-chain.com/>

※ 本サイトは当社の自己資金運用状況に関する「情報提供」のみを目的としており、特定の暗号資産の売買や投資商品を勧誘するものではありません。また、サイト内には投資に関するリスクおよび法的な免責事項を明記しております。

#### 4. 今後の見通し

今回の運用は、今後拡大予定の本格的なトレジャリー運用に向けた実証フェーズ (Proof of Profit) と位置づけております。

引き続き、本ダッシュボードを通じて運用の透明性を担保しつつ、得られたノウハウおよびパフォーマンスデータは、当社が参画するエコシステム内の資金循環モデルにも横展開し、持続可能な財務モデルを確立してまいります。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。

価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。  
「お金」というチケットと、自分の欲を交換する日々。  
チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。  
だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。  
HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。  
食事と、衣服と、住居と、週末と。  
しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。  
そして、チケット自体の価値も変わる。  
硬い金属の箱の奥にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。  
交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前の今日とは遠いところで決定されている。  
暑い夏を感じる資本主義は、こんな景色だ。  
世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。  
価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。  
昔々は貝殻で、ちよっと前はお米で、現代は「お金」で、価値を与えてきた。  
だけど私たちは、目の前で溶けていくかき氷に対して、  
貝殻でしか、交換ができないのだろうか？  
私たちは、いま、ここで、もっと自由に交換できるはずだ。  
abcは、いま、そこらで生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。  
人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

## 多様性を通貨にする abc

■ abc株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abcは「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティ

ブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenized by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

[pr@abc-chain.com](mailto:pr@abc-chain.com)

以上